

美しく強い、日本瓦伝統のイメージ



円筒葺屋根 〈大型屋根用〉

エバーフ® **ほんぶき**



日鉄鋼板

軽量で堅牢 水密性に優れ伝統瓦のイメージをかもしだす円筒ライン 和風、洋風を問わず施工ができる **エパールフ** ほんぶき

特長

1. 和風、洋風に合う美しいデザイン

日本伝統の本瓦葺のライン美を取り入れたシンプルな屋根デザインです。
1995年4月30日、米国で開催されたデザインコンペで、第26回NCCAデザイン賞を受賞。



2. アーチ屋根も可能

最小半径R=50m以上のアーチ屋根の施工が可能です。

3. 頑強な構造

風圧力や積雪荷重に強い円筒構造です。

4. 優れた防水性

二重、三重の水密構造。円筒側面に減圧空間があり、万一侵入した雨水も排水可能です。

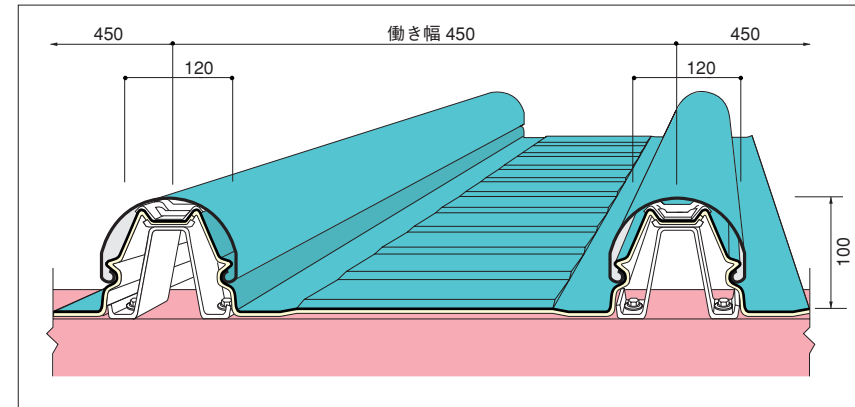
5. 優れた施工性

嵌合タイプですから施工はスムーズ。

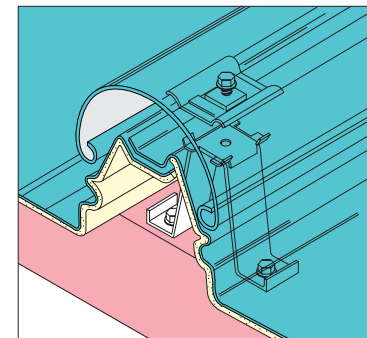
6. 優れた防火性

防火材料認定の材料による「屋根30分耐火構造」(認定番号 FPO30RF-9168)

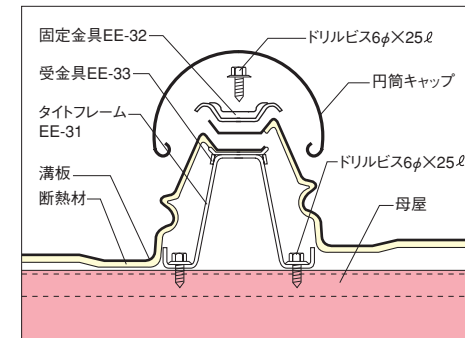
断面形状



嵌合部

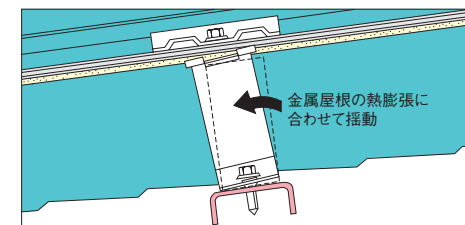


嵌合部分解図

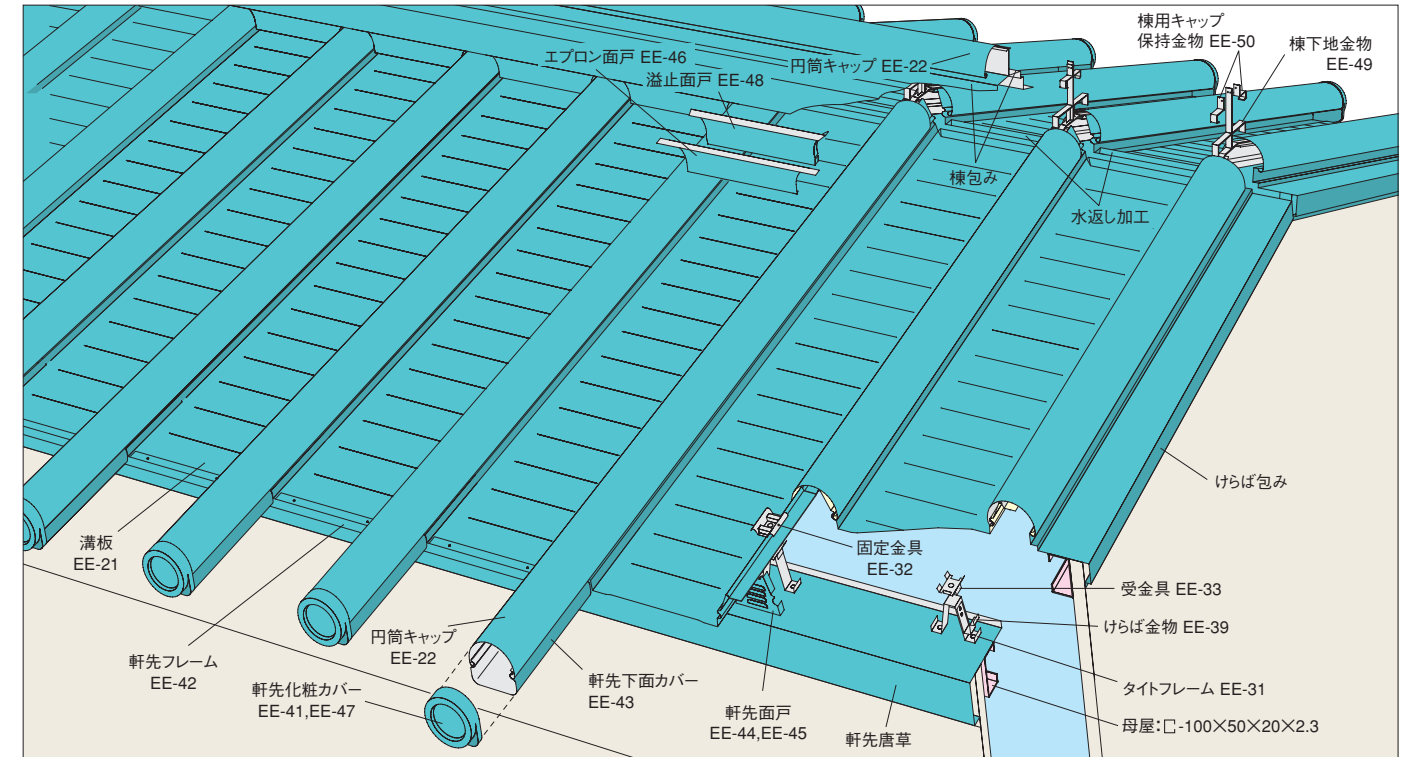


揺動型タイトフレーム

屋根板の熱伸縮を吸収する揺動型タイトフレーム。



構成図

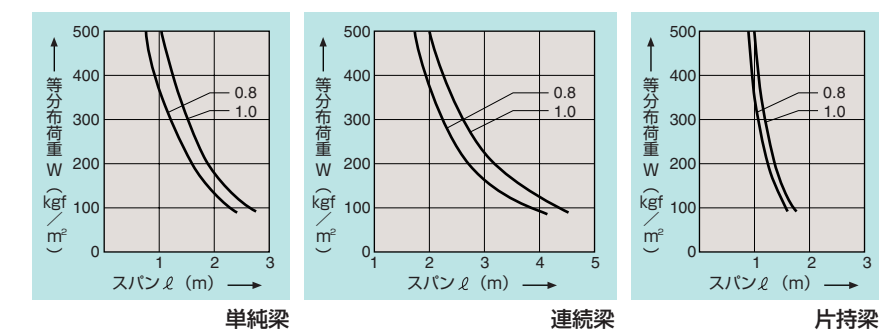


断面性能 (参考)

板厚 (mm)	単位質量 (kg/m)	断面2次モーメント (kg/m ²)	断面係数 Ix (cm ⁴ /m)	断面係数 Zx (cm ³ /m)
0.8	6.06	13.47	65	13
1.0	7.49	16.64	87	18

※詳しくはエパールフほんぶき「施工マニュアル」をご参照ください。

耐風圧グラフ (参考)



用途

学校・体育館・会館・スポーツセンター・レジャー施設等の屋根。

標準仕様

板厚	0.8~1.0mm	
使用原板幅	溝板	642mm
	キャップ	262mm
働き幅	450mm	
m ² 当り必要m数	2.23m	
断熱材	ポリエチレンフォーム t=4mm	
屋根勾配	5/100以上 (一般地域)	

※注1) 板厚1.2mmの場合はご相談下さい。
注2) アーチ構法の場合はキャップ板厚0.8mmです。

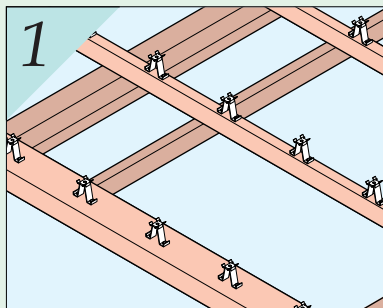
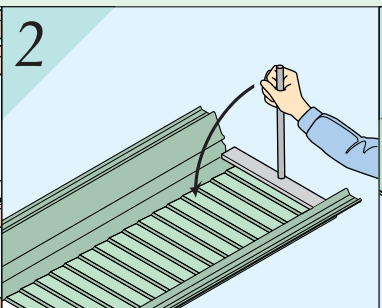
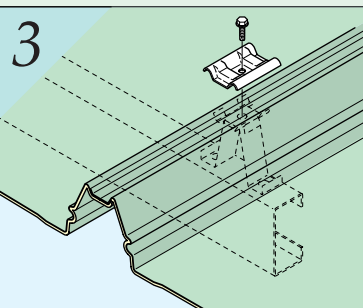
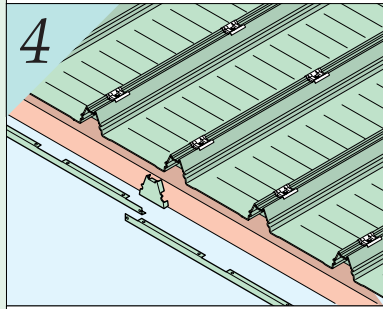
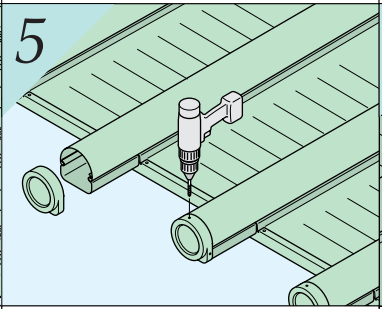
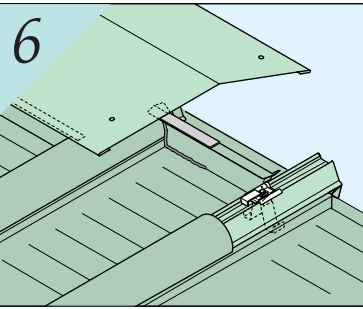


純正部材

タイトフレーム EE-31	固定金具 EE-32	受金具 EE-33	雪止め金具取付金物 EE-38	軒先面戸 EE-44	軒先換気面戸 EE-45
エプロン面戸 EE-46	溢出面戸 EE-48	軒先下面カバー EE-43	軒先化粧カバー EE-41	軒先化粧カバー EE-47 (積雪地域用)	軒先フレーム EE-42
けらば円筒金物 EE-39	棟包み取付金具 EE-34	けらば包み取付金具 EE-35	雪止め金具 EE-37	棟下地金物 EE-49	棟用キャップ保持金物 EE-50
					ドリルビス (6φ×25ℓ) (市販品) (6φ×19ℓ)

※部材については、大同鋼板指定の純正部材をご使用下さい。上記以外にも純正部材を取り揃えていますのでご相談下さい。

施工の手順

		
<p>1</p> <p>タイトフレームの取り付け タイトフレームは、ドリルビス(6φ)にて締結、又はJIS規格溶接法に基づき溶接取り付けして下さい。</p>	<p>2</p> <p>水上部の立ち上げ あらかじめ、水上部の端部の立ち上げをしておきます。</p>	<p>3</p> <p>溝板の取り付け タイトフレームに受金具を取り付け、溝板を重ね、固定金具とドリルビスにより固定します。</p>
		
<p>4</p> <p>軒先面度及び軒先フレームの取り付け 積雪地では、軒先をつかみ込みの工法で納めて下さい。</p>	<p>5</p> <p>円筒キャップの取り付け かんごう部に円筒キャップをはめ込みます。下面カバー、化粧カバーを取り付けます。</p>	<p>6</p> <p>棟及びけらばの納め 溢止面戸、エプロン面戸、棟包み、けらば包みの取り付け。</p>

※詳しくは、エバルーフほんぶき「施工マニュアル」をご参照下さい。

施工上の注意

施工は屋根上での高所作業となり、特に踏み抜き及び滑落事故が発生しやすい工事となります。労働安全関連法規を厳守するとともに、災害を出さないよう安全作業の徹底に努めて下さい。

- (1) 正しい服装と保護具(ヘルメット・命綱など)の装着の心掛け。
- (2) 毎日のミーティングで作業規律の徹底と、健康状態の留意及び安全についての注意事項の確認。
- (3) 建屋内部で作業しながら施工する場合、操業工程・時間等の状況について、食い違いを起ささないよう、施主と緊密な連絡をとり施工計画を立てる。
- (4) 高所作業による墜落事故に対する安全対策。
 - 敷き板(足場板)及び滑落防止用ストッパー等の設置による屋根上での材料置場の安全確保。
 - 安全ネットによる、落下防止の措置。
- (5) 電動工具、一般工具の安全操作と漏電、感電防止及びそれら工具の落下防止の注意。
- (6) 整理・整頓、玉掛作業の安全確保、標識の重視、公衆災害の防止措置の心掛け。
- (7) 降雨、降雪、強風等の気象変化に対する事前処置の留意。

ご注意とお願い

本カタログに記載された製品の技術データは、製品の代表特性や性能を説明するものであり、保証値ではありません。また、保証年数については、当社の定める保証条件があり、本資料に記載されている情報を誤って使用したり、不適切な使用によって生じた損害については、責任を負いかねますので、ご了承下さい。これらの情報は、今後予告なしに変更する場合がありますので、最新の情報については、各担当部署、もしくは支店・営業所までお問い合わせ下さい。本資料に記載された内容の無断転載や複製は、ご遠慮下さい。

日鉄鋼板株式会社

●お問い合わせは・・・

本社・鋼板営業部	〒135-0016	東京都江東区東陽7-5-8	東陽町MLビル	TEL 03-5653-5124(代)	FAX 03-5653-5198
本社・パネル建材営業部	〒135-0016	東京都江東区東陽7-5-8	東陽町MLビル	TEL 03-5653-5128(代)	FAX 03-5653-5199
大阪支社	〒530-0005	大阪府大阪市北区中之島3-2-4	大阪朝日ビル2F	TEL 06-6228-8330(代)	FAX 06-6228-8506
東北支店	〒980-0811	宮城県仙台市青葉区一番町3-7-1	(電力ビル)	TEL 022-264-9861(代)	FAX 022-264-9866
名古屋支店	〒450-0003	愛知県名古屋市市中区名駅南2-13-18	(NSビル)	TEL 052-564-7258(代)	FAX 052-564-4759
九州支店	〒812-0025	福岡県福岡市博多区店屋町5-18	(博多NSビル)	TEL 092-281-0051(代)	FAX 092-281-0230
札幌営業所	〒060-0002	北海道札幌市中央区北2条西4-1	(北海道ビル)	TEL 011-251-8091(代)	FAX 011-251-2906
北陸営業所	〒930-0004	富山県富山市桜橋通5-13	(富山興銀ビル)	TEL 076-432-9898(代)	FAX 076-442-2924
中国営業所	〒730-0037	広島県広島市中区中町7-22	(住友生命広島平和大通りビル)	TEL 082-240-1601(代)	FAX 082-240-1900

ホームページアドレス <http://www.nittetsu-kouhan.co.jp/>